

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」円座校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	法令順守をしたスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	2	1	状況に合わせて会社より指導員を増員予定。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	0	4	必要に応じて検討していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1	1	モニタリングやケース会議を通して、作成しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	会社指定のアンケートを使用し集計している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	ワムネット、会社ホームページに公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	4	第三者機関は実施していませんが、他県の事業所の意見等を踏まえながら現在進めています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	0	内部研修・外部研修に参加できるものは参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2	0	事業所だけでなく、本人を多面的にみる為に学校連携等を強めていきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	0	会社内で統一されたシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	1	2	日々ミーティングを重ね、支援プログラムを考えているが、事業所以外での本人の生活に向けた支援プログラムを考えていきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	2	0	固定化されている物でも保護者様に意図とねらいを説明し、理解してもらえよう努めていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0	3	1	保護者様の声を交え、調整を図っていきます。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	0	1	3	現在は1対1での支援をベースにしています。今後、本人に合わせて調整できるようにしていきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	2	0	1対1の支援の中でも随時協力をしながら適切に支援ができるよう心がけています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1	0	その日のうちに共有しなければならない事柄は支援終了後に共有をしております。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	意図とねらいに対して、本人の言動や様子を記載しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1	0	これからますます保護者様との情報共有を行い、より良いものになるよう取り組んでまいります。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	0	4	0	確認します。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	時間帯により参加できる際は全員で参加している。(当事業所が会議場の際)
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	2	0	希望のある保護者様のニーズに合わせて学校への訪問や支援活動をまとめた報告書を作成しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	0	現在利用はないが、今後必要があれば受け入れ前にしっかりと相談調整を進めていきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1	0	希望される保護者様より進学先の学校様への就学前の情報交換の場に参加させて頂いております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	4	現在は利用がないが、その際はしっかり情報提供させていただきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	0	内部・外部研修において、積極的に参加させて頂いております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	3	現在は機会を設けてはいませんが、希望があれば検討していきます。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	0	0	協議会主催の事業所連絡会に参加しております。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	3	0	支援後に必ず保護者様とフィードバックを行っているが、細かい内容等をお伝えできて

					いない可能性もあり、今後支援でない時でも気軽に電話や訪問して頂ける環境を整えていきます。	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	1	発達について前向きな取り組みができるように保護者様にも声掛けを行ってまいります。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	0	契約時に説明を行い、随時不明点を聞いて頂けるよう声掛けしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2	0	相談しやすい環境調整を行い、相談後の本人の様子もしっかりと共有できるよう努めてまいります。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	2	現在は開催していないが、今後検討していきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	0	4	0	マニュアルに沿って基本的な対応を図っていくが、状況によっては相談員とも協力し、柔軟な対応が取れるよう努めてまいります。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	ホームページや「きらりだより」にて、情報発信をしています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	各自の情報やパソコンは鍵付きの書庫に保管しています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1	0	本人の状態や特性に応じた視覚的情報や、聴覚的情報をわかりやすく提示できるように努めています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	4	事業所主体で開催することはないが、地域で開催されるものに参加していきます。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0	各種マニュアルに沿って対応方法を決めており、その流れを細かく保護者様にも周知できるように努めてまいります。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	0	月1回の防災訓練を実施し、記録として事業所内に保管している。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	会社主体の虐待防止研修に加え、地域の研修にも参加している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0	会社主体の身体拘束防止研修に加え、地域の研修にも参加している。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	0	事業所内での食事の提供は行っていませんが、おかし等の物に対しても必ずアレルギーの確認を行っている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	ヒヤリハットや事故報告書を作成し、事業所内観覧を行っている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」円座校 保護者等数（児童数）：35 回収数：26 割合：0.74%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	2	0	今後支援の際に事業所の間取り等で不具合があった場合は間取りの変更を随時していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	23	3	0	支援時間の切り替えを意識した人の動きを計画し利用しやすい環境を提供できるよう努めます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	11	0	利用者の歩行に負担が出る場合は適宜対応していく。出入口の安全性、スロープ配置なども考えていきます。

適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	25	1	0	さらに客観性を求め、職員個人の専門性を高めています。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	23	3	0	支援目的やねらいの計画を下に進め、児童の状況に合わせて柔軟に対応する。支援の状況などの説明を明確化するよう努めています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	9	12	まずは個別での支援を進めていく。そのニーズを理解してもらいその中で柔軟に対応できるようにしていきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	1	0	引き続き契約時に丁寧に説明を行い、不明点はいつでもお話できるよう努めています。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	26	0	0	今後も継続しより良いものを提供できるように努めています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	4	0	保護者会などは今後機会があれば、設けていき周知していきます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	14	10	現在予定はないが、保護者会を計画した際は案内をしています。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	9	0	より話しやすい環境、支援外の時間でも気軽に相談できるように心がけていく。苦情が出た場合には校舎間などの横のつながりを強化し意見として繁榮していきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	1	0	その子に合わせて、保護者様との話がしやすい配置を心がけています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	13	4	法令と会社基準に合わせ随時行っています。
⑭	個人情報に十分注意しているか	25	1	0	個人情報取り扱い規定により、対応しております。	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	5	1	マニュアルに沿って対応する旨、保護者様にお伝えし、事業所掲示を行います。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	15	4	利用者を含めた防災訓練をより深め、説明、実施、公表を行っていきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21	3	0	利用者だけでなく保護者も期待感を持って通所できるように対応する。保護者様には期待感、子どもには達成感を味わってもらえるように努めてまいります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	22	2	0	今後も意見として適切に吸い上げられるよう、会話の機会を大切にしていきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。